

令和6年度 第2回 大阪府市 I R事業評価委員会 議事概要

1. 日 時

令和7年3月26日（水） 10時30分から11時15分

2. 場 所

大阪府庁5階 議会特別会議室（小）

3. 出席者

《委員》

池田 辰夫 委員長（弁護士）

荒井 巖 副委員長（公認会計士）

荒武 泰子 委員（公益財団法人大阪府暴力追放推進センター 専務理事）

井上 幸紀 委員（大阪公立大学大学院 教授）

高橋 一夫 委員（近畿大学経営学部 教授）

《事務局》

大阪府・大阪市 I R推進局

4. 議事概要

<国による認定区域整備計画の実施の状況の評価について>

<次年度事業計画について>

<その他>

- 事務局から国による認定区域整備計画の実施状況評価、次年度事業計画等について説明し、内容を確認。
委員からの主な意見は次のとおり。（※「→」は事務局による回答。）

■主な意見

- ・ 大阪 I R 工事暴力団等排除協議会が設立され、昨年 11 月に、工事関係者が一堂に会し、設立総会・発足式が執り行われた。絶対に暴力団を排除するという強い気持ちを内外に発表するなど、暴力団排除の取組みとして、非常に良い内容である。
- ・ このように暴力団排除の取組みなど含めて I R の取組みがはっきりと示され、報道機関などを通じてプロモーションされていくことは大変重要である。
- ・ 地域の方々とのコミュニケーションの観点からも、しっかりと取組みを進めていることを発信するとともに、正確な情報を伝えていくことが必要。講演会などで参加者に正確な情報を伝えると、「何となく賛成・反対」から、賛成が大幅に増え、「理由があり賛成」に変わる。府市としてより強く、または事業者が行うプロモーション、ブランディングと重ね合わせて広報を実施していくことが重要と考える。

→ 府民・市民の方々へのアプローチについては、当局としても取組みを進めてきたところ。正確な情報が伝わるよう、民間のノウハウ等も取り入れながら、引き続き力を入れて進めていくとともに、事業の進捗に応じて、深みを持って実施していきたい。

- ・ 大阪府市では、I R開業前からギャンブル等依存が疑われる者の割合調査の開始など、着実にギャンブル等依存症対策を進めていただいているものと認識している。
- ・ ギャンブル等依存症の啓発活動を含む一次予防については、大阪府市や日本全体での取組みとなるが、二次予防、つまり依存が疑われる者の早期発見としては、事業者の体制・取組みが重要になってくる。

→ 大阪 I Rにおける区域整備計画は、府市と事業者が共同で作成しており、その中で、府市は行政としての役割を果たしていくとともに、事業者はその知見・ノウハウを最大限活かし、責任あるゲーミングの取組みを進めていくことなどを、既に取りまとめている。今後は、区域整備計画に掲げた内容について、より実効性を高めていく。

- ・ 日本におけるインフレ状況が今後どのように変化していくのか、事業計画、建設費への影響も大きいことから、引き続き動向を注視いただきたい。
- ・ また、現在、サステナビリティ情報の開示と保証がホットトピックとなっている。これまでの企業活動においては、財務情報が重視されてきたが、昨今においては、気候変動対策や人材育成などの非財務情報の方がより重視されてきている。
- ・ 2030 年秋頃に大阪 I Rが開業する際には、気候関連情報などの開示も求められるかもしれないので、ご留意いただきたい。

→ 区域整備計画において、環境配慮や人材育成などについても記載しているが、今後、サステナビリティ関連について、いただいた意見も踏まえ、引き続き事業者と連携していく。

- ・ 大阪 I Rが一人でも多くの人に喜んでいただけるような施設になるよう、また、開業後には多くの人々が I Rに共感を持つことができるよう、今はその準備期間であると考えてるので、事務局においては、各委員からの意見をしっかり受け止め、モニタリングに活かしていただきたい。

以上